



ナースカー
Nurse Carのご案内
〈平日(月～金)9:00～16:30〉

クリニック、かかりつけ医の先生、介護施設等からの
依頼に対応いたします(30分圏内)

- 【ご依頼】ナースカーをご希望の旨をお伝えください。
- 当院の救急車で救急ナースが同乗し、申し送りを受けます。
 - スタッフの方の同乗は必要ありません。
 - サイレンは鳴らしません。



連絡先 救急センターホットライン
TEL.096-345-8131

ご紹介・ご相談は医療連携部へお気軽に
私たちがお受けします



医療連携部は各医療機関との連携を行い、
患者さんの転院、ご紹介を行う窓口です。
どのようなことでもご相談ください。

TEL.096-345-8111
平日/8:30～17:00 土曜/8:30～12:20

寿量グループ事業理念

寿量グループは Social inclusion(社会的包摂)の構築に貢献します

医療法人社団寿量会憲章

私たちはQOLの向上とノーマライゼーションの確立への道を歩みます

熊本機能病院の理念

私たちは人間の尊厳を守り健康生活への奉仕をいたします

EVENT

11月2日(土)
“寿量フェスタ”“地域連携の会”
を開催しました。

寿量フェスタでは「人とロボットと医療」と題し、村上美香さんナビゲートのもと、最新の医療機器情報や、ロボットスーツHAL®を使ったリハビリを実際に受けられている方の体験談をお聞きました。



ロボットスーツHAL®とは…

装着者自身の足で歩行や立ち座りのトレーニングをアシストするなど、動作を補助する装着型ロボット(CYBERDYNE(株))です。

※「CYBERDYNE」、「ロボットスーツHAL」はCYBERDYNE(株)の登録商標です。

当法人もロボットスーツHAL®を導入予定です。

地域連携の会では「顔の見える連携」の一つとして、医療機関や介護施設の担当者の方々を招き、一緒に“サンドイッチを作る”という新たな「TeaParty」を企画しました。

さらに、社会福祉法人寿量会総合ケアサポートセンター天寿園米満淑恵理事長より「生きて来た、生きている、生きて行く」と題して、高齢者介護の様々な課題などご講演頂きました。



ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。
今後とも連携のほどよろしくお願いいたします。

医療連携部 一同



熊本機能病院
KUMAMOTO KINOH HOSPITAL

〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8-1
代表TEL: 096-345-8111 / FAX: 096-345-8188
E-MAIL: info@juryo.or.jp

外来予約
専用ダイヤル

096-345-8195
月～金 8:30～17:00 / 土 8:30～12:20

熊本機能病院 広報誌

キノウトアシタ

KUMAMOTO
KINOH
HOSPITAL

vol.16

2020
JANUARY

Hospital Letter

KINOH TO ASHITA

TAKE FREE

【特集】循環器内科の先生に聞きました

最近注目の心不全

心不全には何が必要なのでしょう

- 意外と伝わりにくい「心不全」
- 心不全は「寛解増悪」の繰り返し
- 心不全の生存率が上がっています!
- 生存率が2倍になる方法があります!
- 最近注目の心不全

リハビリテーション室(心臓リハ 10:00～12:00)



— 当院の循環器内科医師 —

11/2 寿量フェスタ・地域連携の会を開催しました
12/1より「社会医療法人寿量会」となりました
院内スタッフ川柳／Nurse Carのご案内
医療連携部のご案内

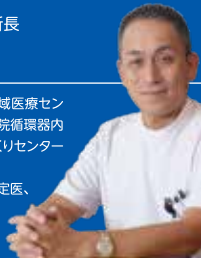
意外と伝わりにくい「心不全」

心不全とは?と聞かれても、意外と一般の方には伝わりにくいですが、2017年に日本循環器学会では、**「心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気」**と定義されました。

(出所)日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン[2017]

循環器内科 部長
熊本健康・体力づくりセンター所長
原田 栄作

熊本大学病院、熊本赤十字病院、天草地域医療センターにて勤務。平成14年より熊本機能病院循環器内科部長、平成31年より熊本健康・体力づくりセンター所長に就任。
日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本体育協会公認スポーツドクター



心不全は「寛解増悪」の繰り返し

心不全は、図1のように、**症状が良くなり安定した状態(寛解)**と、**さらに悪くなる状態(増悪)**である**「寛解増悪」**を繰り返しながら進行しますが、それだけではなく、ステージCの段階でも突然死は十分起こり得ます。

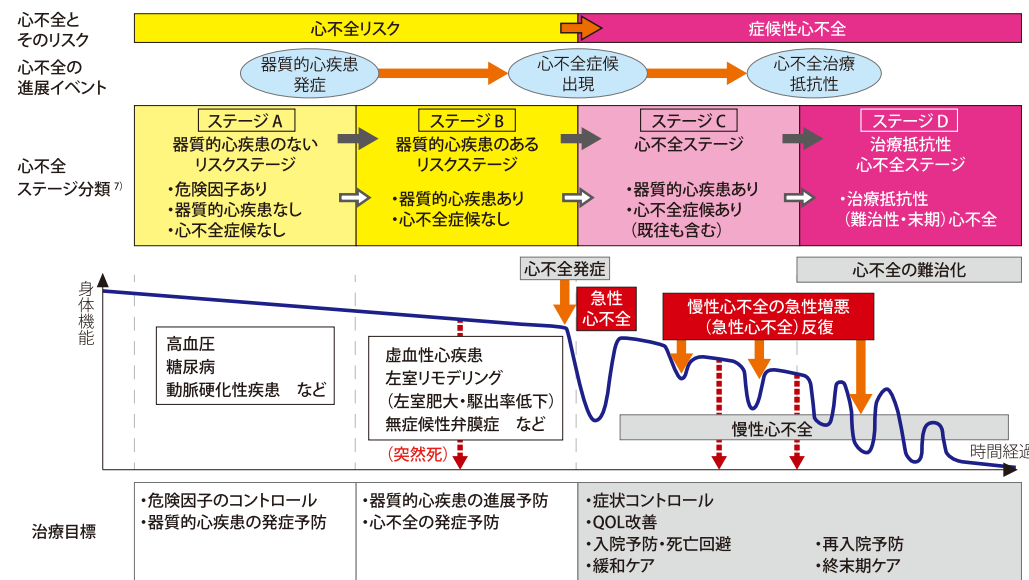


図1 心不全とそのリスクの進展ステージ (出所) 日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン [2017]

心不全の生存率が上がっています！

30年前のいい薬がなかった時代、息切れが労作性にある**中等度の心不全**では、4年生存率は**50%**でした。もともと心不全はガンに劣らず、**5年生存率が低い病態**だったのです。しかし、ここ30年間で生存率を上げてくれる薬が4種確認され、さらに、4年前には糖尿病薬として開発された薬が、**生存率を上げてくれる**ことが分かってきました。

(出所) Braunwald E, et al: Heart Disease 6th ed. [2001]
CONSENSUS. NEJM [1987] Pitt B, et al. NEJM [1999] Packer M, et al. NEJM [2001]
Zinman B et al. NEJM [2015]

生存率が2倍になる方法があります！

さらに生存率を上げるために、意外とすごいのが**運動習慣の効果**です。同程度の心不全の方であっても、運動習慣を持っていると**5年後の生存率は、2倍**になると報告されています。

(出所) Belardinelli R, et al. Circulation [1999]

熊本機能病院 併設「熊本健康・体力づくりセンター」

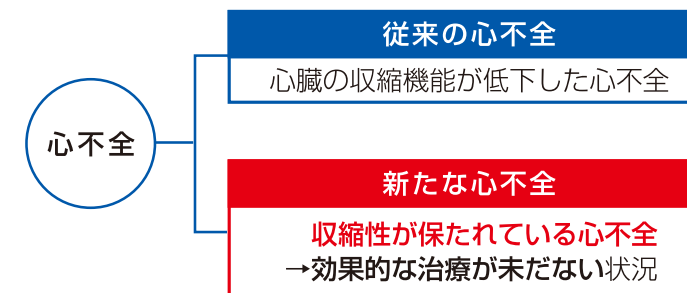
スポーツ選手のみならず、一般の方の体力づくりに必要なプログラムを専門的に提供し、サポートしています。
【お問合せ先】熊本健康・体力づくりセンター (TEL) 096-345-8113 お気軽にお電話ください



最近注目の心不全について研究を進めています

従来、心臓の収縮機能が低下したものが心不全として考えられてきましたが、近年、**収縮性が保たれている心不全**が注目されています。熊本加齢医学研究所では、この**新たな心不全**に着目し、研究を進めてきました。

2017年「Circulation Journal」にて研究成果を報告



従来の心不全と新たな心不全の違い

項目	従来の心不全	新たな心不全	有意差
年齢 (平均, 歳)	75	81	あり
女性の割合 (%)	39	66	あり
収縮期血圧 (平均, mmHg)	121	131	あり
BNP (中央値, pg/mL)	365	197	あり
高血圧 (%)	71	80	あり
左室拡張期径 (中央値, mm)	50	42	あり
相対的壁肥厚 (中央値)	0.43	0.52	あり
左室収縮率 (中央値, %)	41	66	あり

新たな心不全は**高齢女性**に多く、**血圧が高く**、心不全指標の**BNPが相対的に低く**、心臓全体がコンパクトだけど**筋肉が分厚い**特徴があります。

(出所) Harada E, et al. Circ J [2017]

熊本機能病院 研究施設「熊本加齢医学研究所」

熊本加齢医学研究所は、平成12年4月に循環器内科で遭遇した疑問・問題点を研究し、医療の現場にフィードバックすることを目的として開設いたしました。

心不全や冠攣縮性狭心症、難治性高血圧、心臓リハビリを得意分野として研究活動を行っております。

私達はこのような研究を進めることで、治療の糸口が見えてくるのではない、日々研究を進めております。

ぜひ、皆さんへ治療に繋がる朗報をお届けできればと励んでおります。

スタッフ 循環器内科医師4名、事務員1名



TOPICS

12/1より当法人は「社会医療法人」となりました。

令和元年12月1日付で「社会医療法人寿量会」となり、今後とも「24時間体制で、救急医療からリハビリテーション医療を通して在宅医療までの一貫した医療」を実施していく所存です。

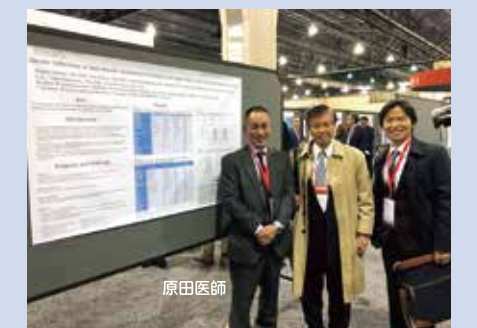
より一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

REPORT

2019.11/17 In フィラデルフィア
American Heart Association
(AHA:アメリカ心臓病学会)

[Gender Difference of Beta-Blocker Association in Patients With Heart Failure Preserved Ejection Fraction]

当施設の研究成果である「心不全の薬の効果」が男女で異なる可能性に関する知見をAHAで発表しました。



院内スタッフ川柳

❖ 感染予防 川柳

ひかる手は ネイルじゃなくて 手洗いで

耐性菌 ビビる前に まず予防

❖ 医療安全 川柳

安全の ベストな処方方は 再確認！

当院では医療安全活動の一環として、スタッフの意識向上を目的に川柳を募集しています。感染予防、医療安全それぞれの作品をご紹介します。